

青森県立自然ふれあいセンターの管理運営状況
(令和2年度～5年度 指定期間評価)

県所管課	環境エネルギー部 自然保護課
指定管理者	青森県森林組合連合会 代表理事会長 須藤 廣明
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
県民の森利用指導事業	・広く県民に対して自然にふれあう機会を提供し、自然保護思想の普及を図るため、日曜観察会をはじめとする各種行事や自然をテーマとした研究会・写真展等を開催した。
情報発信事業	・広報誌、ホームページ等を活用し、センターの事業や県民の森に関する情報を発信した。
施設の維持・運営管理に関する業務	・センターを快適に利用してもらうため、センターの清掃や除雪、各種設備の保守管理等を実施した。
県民の森の維持管理に関する業務	・県民の森を安全・快適に利用してもらうため、登山道を始めとする施設の点検や整備、清掃等を実施した。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画(人)	実績(人)	計画対比	前年度対比
入館者数	R2	30,000	22,848	76.2%	61.4%
	R3	30,000	22,878	76.3%	100.1%
	R4	30,000	22,879	76.3%	100.0%
	R5	30,000	23,446	78.2%	102.5%
行事参加者数	R2	1,700	629	37.0%	23.9%
	R3	1,700	1,055	62.1%	167.7%
	R4	1,700	1,332	78.4%	126.3%
	R5	1,700	1,183	69.6%	88.8%

【増減理由】

新型コロナウイルスの影響を受けながらも、企画展や3館合同スタンプラリー等、可能な限りの集客に努めた。

行事参加者については新型コロナウイルスの影響を受け増減があったが、行事内容自体は好評であり、継続している。

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	業務水準書で定める開館時間及び職員の配置を確保しているほか、来館者及び行事参加者を対象としてアンケート調査を実施し、サービスの向上を図っている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	業務水準書に定める内容に加え、ホームページや広報誌、周辺の公共施設等を活用した行事 PR を行うなど、利用促進に努めている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	業務水準書で定める内容の維持管理を実施しており、利用者からの苦情はない。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	緊急時連絡体制が整備されており、年2回の消防訓練を適切に行っている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	適正に執行されている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	3	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底した上で、可能な限り事業を実施している。 県民に対し自然体験活動の啓発を効果的に行っている。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	個人情報取扱特記事項及び各種労働法規を遵守しており、評価期間中に問題となる事例は発生していない。
総合評価	3	3	

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する